

科目名	現代メディア社会論 I	担当者	佐幸 信介	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

【授業概要】

授業目的	メディアが多様化するなかで、メディア環境は私たちの生活環境、社会環境と限りなく重複している。この講義では、メディア環境が変化するなかで、受け手や消費者という立場だけでなく、送り手や作る側からの視点や研究する視点を織り交ぜながら、メディアの現状と課題を理解することを目的とする。		
到達目標	現代メディアに関する幅広い基礎知識と認識を習得することを目標とする		
履修条件	新聞学科に在籍、またはメディア、コミュニケーション、ジャーナリズムに関心を持っていること		
授業方法	映像や統計資料などを適宜使用する		
準備学習	シラバスを参照し、テキストの該当箇所をあらかじめ通読しておくこと。また、新聞には目を通しておくこと。		
成績評価	種別	割合	評価基準
	定期試験		
	平常評価	100%	授業内試験
教科書	藤竹暁編著『図説 日本のメディア』NHKブックス		
参考書	伊藤守編『よくわかるメディア・スタディーズ』ミネルヴァ書房		
オフィスアワー	水曜3限		

【授業区分】

区分	授業内容
1	ガイダンス
2	現代メディアの多様性 [テキストpp. 15-31]
3	現代メディアの利用と環境 [テキストpp. 236-261] : メディア利用と統計と自分のメディア利用を比較する
4	新聞の多様性と仕組み [テキストpp. 34-56]
5	ビジネスとしての新聞 [テキストpp. 56-64]
6	マス・コミュニケーションの成立と近代
7	映画『薔薇の名前』 : 中世と書物の世界
8	テレビの制度と構造 [テキストpp. 75-96]
9	テレビを観ること作ること [テキストpp. 96-117]
10	映画『グッドナイト&グッドラック』 : 表現の自由とニュース
11	インターネットの普及と利用 [テキストpp. 181-205]
12	インターネットの普及とマス・メディア [テキストpp. 65-74, pp. 181-205]
13	ソーシャルメディアと社会 [テキストpp. 263-281]
14	映像資料「フェイク・ニュース」
15	テストと講義のまとめ